



Japan Design Space Association

一般社団法人日本空間デザイン協会  
デザイン賞委員会

## DSA空間デザイン大賞 2012「霧はれて光きたる春」に決まる

「DSA空間デザイン賞 2012」は、大賞および日本経済新聞社賞に、応募総数 877 作品の中から、クリエイティブアート空間作品、ハナムラチカヒロの「霧はれて光きたる春」が決定いたしました。ほかに「優秀賞」15 作品、「奨励賞」5 作品と東日本大震災を受けて今年、新設された賞「復興支援特別賞」4 作品、協会特別賞（地域・学生）5 作品がそれぞれ選出されました。

日本空間デザイン協会(旧・日本ディスプレイデザイン協会)が主催する「空間デザイン賞」は、世界最大規模の空間環境系のデザイン賞で、年間を通じ国内外の空間デザインの中から優れた作品を顕彰する賞で、本年で46 回目。今後関連して、全国各地でデザイン賞作品の展覧会や賞作品を収録した「年鑑日本の空間デザイン」の刊行、受賞者によるシンポジウム、贈賞式などの開催を予定しています。



お問合せおよびデータのご請求は下記へご連絡ください。

一般社団法人 **日本空間デザイン協会** [旧社団法人日本ディスプレイデザイン協会] [www.dsa.or.jp](http://www.dsa.or.jp)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 2-4 フクヤマ第3ビル 23号 Tel.03-3259-1661 Fax.03-3259-1662 [dsa@dsa.or.jp](mailto:dsa@dsa.or.jp)

## 「DSA空間デザイン大賞 2012」および「日本経済新聞社賞」 霧はれて光きたる春

企画、ディレクション、デザイン：ハナムラチカヒロ

特殊効果：ギミック 岡田正夫

照明・音響： エアプロジェクト 西口敦司

協力：大阪赤十字病院

主催：おおさかカンヴァス推進事業(大阪府)

場所：大阪・天王寺

期間：2012年1月～2月

### □デザイン意図

大阪赤十字病院の入院病棟吹き抜け空間で行ったインスタレーション。立ち上がる霧と吹き荒れる雪による冬景色と空から無数のシャボン玉が漂う現象を生み出し、光と音で演出した。入院患者や医師、看護師や職員など院内の全ての人々が共に空を見上げる風景を生み出す。病院は治療に向けた機能的な役割分担が優先され、入院患者の心が置き去りにされがち。その中で奇跡的な風景を共有することで役割や立場や年齢の違いを越えた交流が生まれ、一瞬でも闘病生活の不安から開放されることを目指した。



お問合せおよびデータのご請求は下記へご連絡ください。

一般社団法人 **日本空間デザイン協会** [旧社団法人日本ディスプレイデザイン協会] [www.dsa.or.jp](http://www.dsa.or.jp)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-4 フクヤマ第3ビル23号 Tel.03-3259-1661 Fax.03-3259-1662 [dsa@dsa.or.jp](mailto:dsa@dsa.or.jp)